

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
トラベルコーディネート Travel Coordination Studies		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(観光ビジネス実務士必修科目)	全学生 観光ホスピタリティフィールドの学生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
観光ビジネス実務演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清	本館2階	火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
観光は21世紀のリーディング産業の一つとして期待されている。国内旅行においても、海外旅行においても、添乗業務は重要な仕事である。国内旅行および海外旅行の基本を修得し、ツアーコンダクターやガイドの役割、国内添乗、海外添乗に必要な添乗の基礎を学んでいく。				
授業の目標				
①旅行企画の作り方の基本を学び、実際に国内旅行のモデルコースを作成できるようにする。 ②ツアーコンダクターとガイドの意味・役割を熟知し、必要とされる能力を身につけることができるようにする。 ③添乗業務の基本的な流れを修得することができるようにする。 ④事故やトラブルなどの対処の仕方を身につけることができるようにする。 ⑤添乗業務において必要なホスピタリティマインドを社会人として示すことができるようにする。				
授業の方法				
前半は時刻表等を活用しながら、グループワークなどの実践的な演習形式による国内旅行ツアーの企画立案を行い、プレゼンテーションまで実施する。後半はテキストを使用し、ツアーコンダクターの役割や、国内旅行・海外旅行の添乗の流れを学習する。				
学習の成果（学習成果）				
①ツアーコンダクターとガイドの意味を自ら学び、実務に必要な行動をとることができる。 ②接客の対応において顧客満足の視点に立ったサービスを考え出し、事故やトラブル発生の際に的確な対処をし、現場で活かすことができる。 ③旅程管理の基礎を学ぶことができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（講義の進め方）			
第2回目	旅行会社パンフレットの研究（国内・海外）			
第3回目	旅行企画の作り方の基本（時刻表使用）			
第4回目	模擬モデルコースの作成演習①（具体的条件をベースにコース作成作業開始）			
第5回目	模擬モデルコースの作成演習②（味付け素材等も加えてコース完成へ）			
第6回目	模擬モデルコース班別発表			

第7回目	ツアーコンダクターとは①（旅程管理者としてのツアーコンダクター他）	
第8回目	ツアーコンダクターとは②（ツアーコンダクターに必要な能力）	
第9回目	国内添乗業務①（添乗の基礎知識と準備）	
第10回目	国内添乗業務②（日帰りバスツアーの添乗業務）	
第11回目	海外添乗業務①（海外添乗の基礎知識）	
第12回目	海外添乗業務②（準備と、日程に沿った添乗業務）	
第13回目	海外添乗業務③（帰着から精算まで）	
第14回目	事故とトラブルへの対応	
第15回目	全体のまとめ	
事前・事後学習	事前：授業Scheduleに合わせて、教科書の当該部分を一読してから授業に臨む事 事後：授業での不明点は、次回授業までに調べ理解しておく事	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に集中し、ノートをとる。不明なことがあれば積極的に質問する。自分の意見を述べるなどが評価の対象となる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	ツアーの企画に際しての注意事項や、ツアーコンダクターとして心掛けなければならない様々なポイントについて、十分な理解ができているかどうかを確認する。S評価の基準＝90－100
発表内容（態度含む）	30%	ツアープランニング（国内旅行の企画立案）プレゼンテーション（第6回目実施予定） S評価の基準＝90－100
その他		
教科書と参考図書		
ツアーコンダクター入門（JTB総合研究所） JTB時刻表（JTBパブリッシング）		
履修上の留意点・ルール		
3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中で無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。		